

Debian-Ubuntu BoF

2008/09/11 @ 中野サンプラザ

Hideki Yamane <henrich@debian.or.jp>

始める前の諸注意

- 撮影などされると困る人は先に断りを入れてください。
 - 途中で質問とかも OK、ただし長いのは後でお願いします。
 - 今回の資料はどこかのタイミングでアップロードする予定です。
-
-

早速ですが、質問タイム！

- Debian を使ってる人？
- Ubuntu を使ってる人？
- どっちも使ったことない人？

前に出て話してる人の自己紹介

- やまねひでき (Debian JP Project)
- 小林 準 (Ubuntu Japanese Team)



「賢者は歴史に学び、
愚者は経験に学ぶ」



歴史を振り返ろう



Debian

- 当時のディストリビューションの出来の悪さに切れた大学生が約 1 名。
- Ian Murdock



<http://en.wikipedia.org/wiki/Image:IanMurdock.jpg>

– 「俺がやってやるぜ！！！」

Debian

- そして 1993 年 8 月 16 日
 - 彼の名前「Ian」と彼女「Debra」の名前を合わせたディストリビューション = Debian が始まった

- <http://groups.google.com/group/comp.os.linux.development/msg/a32d4e2ef3bedcc5>

そしてインターネットの 爆発的な発展



Debian の成長曲線 (packages)

- 1.1 474
 - 1.2 848
 - 1.3 974
 - 2.0 ~ 1500
 - 2.1 ~ 2250
 - 2.2 ~ 3900
 - 3.0 ~ 8500
 - 3.1 ~ 15400
 - 4.0 ~ 18000
-
-

しかし、問題も出てくる

- 「多数のアーキテクチャ上での
大量パッケージの一斉リリース」
 - 「民主主義的平等によるフレームワーク
によるリソースの消費」
 - 「ユーザ = 開発者という視点からの
脱却ができない」
-
-

Ubuntu

- SSL 証明書の会社を作って (Thawte 1995 年創業)
- ドットコムバブルに乗って Verisign に売り払い (1999 年)
- … そしてビリオネアになって宇宙旅行に出かけるまでになった Debian 開発者の若者が一人。

Mark Shuttleworth



- 「Debian が自分の思った形と違う方向にしかいかないのなら、folk してしまえばいいのでは？」

http://en.wikipedia.org/wiki/Image:Mark_Shuttleworth_by_Martin_Schmitt.jpg

Ubuntu

- 「ベースは Debian にしよう」
 - 「人手は？」
 - 「今の Debian 開発者を中心に雇用すればいい」
 - 「でも目標は？」
 - 「6ヶ月ごとの定期リリース」
 - 「デスクトップ用途強化」
 - そして2004年4月、<http://no-name-yet.com> という名前で Ubuntu は始まった。
-
-

Ubuntu

- 2004 年 10 月のバージョン 4.10 から始まる
順調なリリース。
 - 対して遅れるのが通例の Debian のリリース。
 - Vista ほどじゃないですけどね :-)

Ubuntu の成功

- = 開発者「以外」の使う人（ユーザ）の欲求に素直に向き合ったこと。
- そして geek が軽視しがちな「メディア」「ブランド」に向き合ったこと。

しかし…。



Ubuntu の成功の影

- ベースとなる Debian では
 - Canonical に雇用された開発者が Ubuntu を優先するのでペースが落ちた or 全く動かなくなったものが…
 - 業務命令で先に Ubuntu での GNOME まわりをアップデートして、Debian では作業しないなど、novell の人の blog で批判が出てたり

Ubuntu の成功の影

- 一番ボトルネックだったパッケージの受け入れ可否の権限を持った人 (ftpmaster) も同様に雇用されて Ubuntu を優先

(元から動きは遅かったけど ;-p)

- 新しいパッケージが入らなくて魅力が薄れていく… (2、3ヶ月審査待ちとかざらに。)

Ubuntu の成功の影

- 「Ubuntu はできるのに Debian できねーよな」
 - → 心ないメッセージが巷に溢れて
モチベーションが落ちる…

「歴史振り返りここまで」



「じゃ、Ubuntu でいいじゃん？」

- Ubuntu の状態

- Universe/Mutiverse

- 「universe コンポーネントはフリーソフトウェア、オープンソース、Linux 界全体のスナップショットです。オープンソースソフトウェア、もしくは各種のよりオープンでないライセンスであっても全て公開されたソースコードから自動生成されたソフトウェアであれば全て、universe で見つけることができるでしょう。（中略）universe コンポーネントには数千のソフトウェアが含まれています。universe を使うことで、ユーザーは膨大なオープンソースソフトウェアの世界から提供される多様性と柔軟性を安定した Ubuntu コアの上に構築することができます。」
 - これ、ほぼ全部 Debian そのまんまですから！
-
-

「じゃ、Ubuntu でいいじゃん？」

- 「これらのソフトウェアは全て、main に含まれるライブラリやツールを使ってコンパイルされるので、それらさえあれば問題なくインストールされ、動作するはずです。ただし、セキュリティ対応やサポートについては保証されません。」
- Debian だと（超頑張って）それすらもサポートしてるんです！

アーキテクチャサポート数

- Intel/AMD 以外は??
 - (alpha, hppa, mips, mipsel, arm, ia64, powerpc, sparc, m68k, s390, sh, etc...)

メインライン / *upstream* 重要

- 全てのパッチを個別維持するのは大変
- 失敗をやらかすことも…
 - (Debian/Ubuntu OpenSSL 事件を見よ！
orz)

Free software であろうとする力

- 単純に「楽」を求めるだけのユーザへ応えるだけでプロジェクトが続く？

from Ubuntu Code of Conduct

(<http://www.ubuntu.com/community/conduct>)

- Be collaborative. Ubuntu and Free Software are about collaboration and working together. Collaboration reduces redundancy of work done in the Free Software world, and improves the quality of the software produced. You should aim to collaborate with other Ubuntu maintainers, as well as with the upstream community that is interested in the work you do. (snip)
- 掛け声だけ？

FLOSS エコシステムサイクル

- 弱かった部分（ユーザの開拓、メディアへの露出、デスクトップ用途）が Ubuntu によって補完された
 - しかし、これによって既存のバランスも崩れてきている
 - 使った結果をうまくフィードバックできていない
-
-

何が必要か？

- Be collaborative.
- Ubuntu->Debian/Upstream へのフィードバックサイクルの強化



フィードバック

- Ubuntu はフィードバックしてるよ？
 - でも「big patch を投げる」だけが多い
 - Linux Kernel の開発などでも散々話題になったが、この方法は受け入れられない事が多い
- しかし Ubuntu 「だけ」に求めてもダメ
 - 自分から「この部分をフィードバックして」と言わないと、何が必要で何が不要じゃないのか不明でしょ？

コミュニケーション強化

- Here
 - 日本
 - 日本の Debian 関係者？
 - Debian JP Project
 - 日本の Ubuntu 関係者？
 - Ubuntu Japanese Team
 - 何をするの？
 - 自分ができること
 - 2つのチーム/プロジェクトのコミュニケーションを促進する
-
-

コミュニケーションを促進？

- How?

- まず手始め

- Debian JP Project メンバーが
Ubuntu Japanese Team に加入し、情報交換を開始

- Next ?

- この BOF :-)

- And?

- irc/mail などを通じた情報交換とイベントでの共催などの実施、Ubuntu での改善状況を確認して Debian へのフィードバック促進、相互の理解を深める

コミュニケーションを促進？

- Why?

- ボランティアベースで FLOSS をやる酔狂な人は少ないのでリソース不足の防止
- ユーザ / 開発者間での相互の不理解は不幸を招くので、その防止も兼ねている

- And?

- 逆に Ubuntu Japanese Team から Debian JP Project への参加者を増やすなども (join upstream!)
-
-

エコシステムが回ると何が良いの？

- リソースの適切配分（マネジメント改善）
- ユーザの不満解消
（not Debian/Ubuntu specific）
- 開発者が楽になる
 - （少なくとも変な誤解から来る偏見で萎えることは少なくなる :-）

よくある変な誤解

- Q: 「Debian と Ubuntu って
仲悪いんだよね？」

A: 「それ、デマですから！」

- だったらこうやって BoF 開いてないよ
 - Debian 関係者ですが、Ubuntu のミラー 3 年前からやっていますよ？
 - サーバ機材の提供とかも（個人的に）この前してもらった。 Thanks :-)

We'll work together!

- ...and need "yOUR" help,

join us!



Thank you.

